

# 西丹沢方面の自然公園情報

日付：令和6年11月22日（金）

コース：向河原バス停ー番ヶ平

天気：晴れ

気温：11℃（13時頃、番ヶ平）

●向河原から番ヶ平までの登山道は道迷いしやすいかもしれません。登りはじめの急斜面は落ち葉や枝打ち後の枝で踏み跡が明瞭でなく、脇へ向かう林業作業道に進んでしまいそうです。



黄線：自然に進んでしまいそうな林業作業道

青線：登山道

●この辺りは富士山噴火に由来するスコリア層に覆われています。多孔質で軽いため流出しやすい性質です。登山道が分断された箇所もあります。遠回りでも無理なく刻んで渡り、渡った後には、確認して、登山道を見失わないことが大切だと感じました。



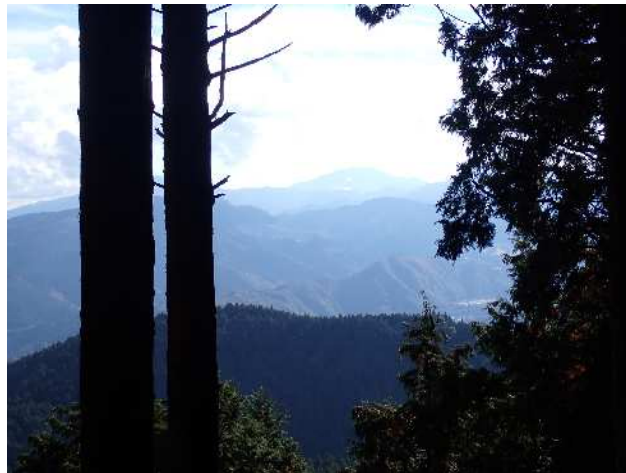


●植林地を抜け日陰のつづく登山道ですが、登っている間は暑くて上着を脱ぐほどでした。それが番ヶ平に着くと日当たりはよいのに風もあって震えるほど寒くなりました。天気よさに惑わされない備えが必要です。



10℃以上ありますが体感温度はもっと低く感じました

●スギ林の合間に、一瞬、眺望の開ける場所がありました。箱根外輪山の向こうに薄く見えるのが箱根山です。中腹に大涌谷の煙が白く上がっていました。



●向河原に戻ってつり橋を渡ります。広がる景色がこれからの紅葉を期待させました。

